

パブリックコメントの実施結果

- 1 募集期間 令和4年9月16日から令和4年10月16日まで
- 2 意見総数 3件（2団体）
- 3 御意見の内容及び県の考え方

番号	意見の内容	意見に対する県の考え方
1	<p>【第2の2 数値目標について】</p> <p>数値目標の目標値が低いという第1印象を受けた。</p> <p>しかし、実績は平均44.5%であり、妥当な数値目標なのかもしれない。軽々には言えないが、より高い数値目標を掲げられても良いのではないかと感じた。</p>	<p>県立看護大学の過去5年間（平成29年度から令和3年度まで）の県内就職率は、41.1%、34.4%、37.0%、57.5%、52.3%と推移し、令和2年度及び令和3年度は数値目標である50%以上を達成しました。</p> <p>しかしながら、直近の2年は新型コロナの影響により、県内就職を選択した学生もいたと大学から聞いており、それが県内就職率上昇の理由のひとつとなっていると考えています。</p> <p>そこで第2期においては、確実に50%以上が達成できるよう、大学の努力はもちろんのこと、県や医療機関などと連携・協力し、多くの卒業生が県内に就職するよう、取り組みたいと考えています。</p>
2	<p>【第3の1（3）教育に関する目標（学生の確保）について】</p> <p>本県の医師不足と同様に周縁部地域では看護師不足もあるのではないかと推測する。</p> <p>私立の看護系専門学校は卒業後、指定病院（指定地域）で数年就労すれば返済不要の奨学金制度を多くが備えている。</p> <p>市町村または病院機構が出資母体となりそのような制度を整えば、学生にも周縁部地域にもメリットとなるのではないかと考えた。</p>	<p>県では看護師確保が比較的困難な中小規模（病床数200床未満）の県内の医療機関等への就業を目指す学生を支援するため、「宮崎県看護師等修学資金」を運用しています。</p> <p>この修学資金は、貸与を受けた学生が、卒業後5年間上記施設に就業した場合、返還免除が受けられる制度です。</p> <p>この他にも、地域の医療機関によっては独自の奨学金制度を運用しているところもありますので、今後とも「宮崎県看護師等修学資金」と併せて県立看護大学の学生へ周知を図って参ります。</p>
3	<p>【第3の3 地域貢献に関する目標について】</p> <p>教育・研究成果が、県内の医療・看護研究者や医療・看護職者に還元されようとしていることが感じられ好ましく存じます。</p> <p>宮崎公立大学では、その教育・研究成果を研究者のみならず一般市民にも開放・提供すべく、数多くの公開講座（市民講座）を開講しておられます。</p> <p>貴学におかれましては、取り扱う学問の特性や専門性から、還元すべき対象が研究者や医療職者に限られるという事情もあろうかと拝察いたしますが、県民の貴学に対する親近感や期待に鑑み、一般の人々を対象とした、心身の健康に資する情報等の提供の場が貴学によってもたらされるとよろしいかと存じますので、このことを要望致します。</p>	<p>県立看護大学では、大学が持つ研究成果や人的資源を地域に還元するため、様々な地域貢献活動に取り組んでおり、活動の一つに毎年県民を対象とした公開講座を開講しています。</p> <p>令和4年度は、病気に対する予防的な知識や生活習慣を整える内容の講座を開講し、大学の教員が開発した運動プログラムの「いきいき健康（けんこう）体操」を参加者に実践していただきました。</p> <p>また、教員が地域へ出向いて身近な健康問題等をテーマに講演を行う「出前講座」にも毎年取り組んでいます。</p> <p>地域貢献活動は、第2期においても大学の重要な活動の一つと考えていますので、今後とも、多くの県民の方々に参加していただけるよう、大学と連携し、様々な機会を通じて周知を図って参ります。</p>